

第3回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成29年11月28日(火) 15時～17時 国立国会図書館総務課第二会議室	
委員長及び委員	委員長 山本 清 (東京大学大学院教育学研究科教授) 委員 石田 晴美 (文教大学経営学部教授、公認会計士) 委員 稲垣 隆一 (弁護士) 委員 富山 正次 (公認会計士)	
審議対象契約期間	平成28年10月1日～平成29年9月30日	
指名停止の運用状況	指名停止なし	
抽出案件(件)	5	(備考) 案件総数 257件
競争入札(工事)		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件名: 国立国会図書館関西館ガラス修繕工事 ・契約相手方: 株式会社長谷川工務店 ・契約金額: 1,015,200円 ・契約締結日: 平成28年10月21日 ・担当部局: 関西館総務課
競争入札(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件名: 国立国会図書館業務基盤システム利用者サービス関連追加機能設計作業1式 ・契約相手方: ネットワンシステムズ株式会社 ・契約金額: 23,220,000円 ・契約締結日: 平成28年12月27日 ・担当部局: 総務部会計課
競争入札(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件名: NDLデジタルアーカイブシステムデジタルデポジットシステムの保守及び図書館送信機能移行1式 ・契約相手方: 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ ・契約金額: 114,145,200円 ・契約締結日: 平成29年4月3日 ・担当部局: 関西館総務課
随意契約(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件名: 利用者サービス用検索システムの要件定義・基本設計支援作業 ・契約相手方: 株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング ・契約金額: 29,991,600円 ・契約締結日: 平成28年10月18日 ・担当部局: 総務部会計課
随意契約(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件名: 国立国会図書館公式Webサイトの開発・検証環境構築等作業1式 ・契約相手方: 株式会社インターネットイニシアティブ ・契約金額: 13,608,000円 ・契約締結日: 平成29年5月1日 ・担当部局: 総務部会計課
館長指定案件	なし	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	なし	

別紙

主な意見・質問	回答等
<p>【国立国会図書館関西館ガラス修繕工事】</p> <p>今後は、応札業者の過誤（調達書の読み間違い）が発生しないよう努めるべき。</p>	<p>今後、同様の事例が発生しないよう、慎重に対応する。</p>
<p>【国立国会図書館業務基盤システム利用者サービス関連追加機能設計作業 1 式】</p> <p>CIO 補佐官など外部専門家から、調達に係る助言を得ようとする際は、専門家が正しい評価をするための情報と時間を十分に確保するとともに、調達担当者が意見内容を適切に理解し、かつ責任をもって判断する必要がある。</p>	<p>ご指摘のとおりであり、引き続き努力していく。また、あらためて、専門家から助言を得る際の調達スケジュール等について担当者間で確認し、認識を共有する。</p>
<p>【NDL デジタルアーカイブシステムデジタルデポジットシステムの保守及び図書館送信機能移行 1 式】</p> <p>CIO 補佐官の評価において留意事項がある場合等においては、競争環境の平等性の確保についてより慎重に検討すべきである。</p>	<p>今後は、補佐官の指摘の意味、解決すべき課題などを的確に把握したうえで、対応策を考える。</p>
<p>【利用者サービス用検索システムの要件定義・基本設計支援作業】</p> <p>企画競争を採用したとのことだが、応札者がクリアすべき最低基準などは設けたのか。</p>	<p>本件では、「検討がなされていない、又は作業進行が見込めない」という項目が一つでもある場合は、不合格とした。</p>
<p>【国立国会図書館公式 Web サイトの開発・検証環境構築等作業 1 式】</p> <p>現業者による環境を使う必要性などを検証しているか。</p>	<p>元の契約は一般競争入札で複数年契約を結んでおり、環境を利用し続けることも考慮して入札評価をした。</p>
<p>【その他全般】</p> <p>手続上、法的な問題をクリアしていることは当然であるが、「公平性」「適切性」などの視点をもつことの重要性を認識してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおりである。これらの視点を、具体的な調達手続としてどのように取り込むか、担当者間で検討する。</p>